

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020100

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17 上・下水道の整備	事業優先度	B	
単位施策	2 下水道の普及促進	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	浄化槽整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	10 建設水道課	
事業指標	生活排水処理率		#N/A	
事業目標	100%	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 水質汚濁防止法・浄化槽法	
住民協働		関係個別計画名	有 一般廃棄物処理基本計画	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	公共下水道処理区域外の生活排水処理を充実させ、公共水域への環境負荷を解消するため、合併処理浄化槽設置者への補助金の交付。 ・ 住民負担額の95%を補助	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	
	事業費(千円)	50,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	4,550	910	910	910	910	
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	45,450	9,090	9,090	9,090	9,090		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	19,841	10,887	8,954	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	1,497	704	793			
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	18,344	10,183	8,161				
関 連 事 項	特定財源の名称 循環型社会形成推進交付金	【評価・実績】					
		(実施内容等) 合併処理浄化槽設置補助 合併処理浄化槽維持管理補助	(実施内容等) 合併処理浄化槽設置補助 合併処理浄化槽維持管理補助	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 浄化槽設置基数	年度達成率 109%	年度達成率 90%	年度達成率 0%	年度達成率 0%	年度達成率 0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率 事業進捗状況	全体達成率 22%	全体達成率 40%	全体達成率 40%	全体達成率 40%	全体達成率 40%

事業名	浄化槽整備事業	評価者	管理職 職氏名	住民生活課長	淡路 至尊
		評価者	作成者 職氏名	環境衛生係長	苫米地 幸二

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	下水道処理区域外全戸	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	設置者への補助件数
【抱える課題やニーズは】	生活排水未処理放流による公共水域への環境負荷	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活雑排水処理の充実	① 設置者補助件数	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	下水道整備との連携で生活排水処理率を向上させる。		② 維持管理者補助件数
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	合併処理浄化槽設置者に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置に係る経費の95%相当分を補助(下水道処理区域外) ※処理人槽により上限額有	
	合併処理浄化槽維持管理に対する補助金の交付	合併処理浄化槽維持管理費の一部を補助(上限25,000円)	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公共水域の水質保全、快適な居住環境を確保するためには、生活雑排水の水洗化を図る必要があり、下水道処理区域外は合併処理浄化槽の普及を図る必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	合併処理浄化槽の設置者は増加傾向にあり、生活雑排水処理の充実が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	補助金の交付申請の祭、合併処理浄化槽の設置に係る見積書を添付させており、工事内容等の詳細の確認を行っていることから、事業費の抑制が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	本事業は、下水道区域外が対象であるが、下水道処理区域外の生活雑排水の充実、公共水域の水質保全に寄与し、環境の保全・快適性の向上を図るものであることから公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
合併処理浄化槽の普及は、公共水域の保全を行う上で有効な手段であり、今後も計画どおり事業を執り進めることが必要である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
公共下水道区域外の生活雑排水処理を充実させ、公共水域の環境負荷を解消するため必要な事業であり、継続して執り進めることが必要である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止